

第63回「郷土のお祭の絵」展表彰式



表彰式

平成27年12月20日、熱田神宮文化殿にて第63回「郷土のお祭りの絵展」表彰式（愛知県神社庁・中日新聞社主催）が開催された。同展は郷土の歴史・文化を伝承する祭りや地域に根ざした伝統行事を題材としており、県内各地の幼稚園・保育園児、小学生、中学生の作品が出展された。応募総数は、昨年より約二百点増加し絵画の部、絵馬の部あわせて3,072点を数えた。当日は晴天であり、入賞した子どもたちを含めて200人の参加があった。式の冒頭、三浦正典教化常任委員長より表彰式に参加いただいた方々へ多数応募いただいたことへのお礼とともに次年度も是非応募いただきたいとの挨拶があった。ついで審査員を代表して後藤勉先生から審査の観点と入賞者作品について具体的な解説があり、「入選した人は2回見て欲しい。1回は自分のことだけでよいが、2回目は他の作品と自分の作品とどこか違うのかをよく見ることで、より自身の技量が向上する」との言葉をいただいた。表彰式で神社本庁統理賞を受賞した小嵩蒼さん（西尾中央幼稚園年長）他、428名の受賞者に、表彰状と記念品が授与された。



入賞作品の展示



後藤勉先生講評